

## 第3節 安全でさわやかな都市環境のまち



JR土山駅周辺整備イメージ図

### 1 快適環境の創造

本町の持つ交通の利便性などを生かし、楽しさに満ちた快適な暮らしができるよう、駅周辺を中心としたまちの拠点づくりを進める。

また、都市景観の保全に留意し、幹線道路や生活道路網の整備、上下水道などの整備の推進をはじめ計画的な土地利用を図り、都市と自然が調和したうるおいのある快適な環境を創造する。

### 2 緑のまちづくりの推進

「緑」は人々にやすらぎやうるおいを与えるだけでなく、地球環境の保全や災害防止などにも寄与する。さらに、地域住民が主体となって取り組む緑化活動は、地域のコミュニティ育成など様々な効果が期待できる。

そのため、住宅地をはじめ公園、緑地、水辺空間の整備など緑のまちづくりを積極的に進める。



花と緑の協会による植え替え作業(野添北公園)

### 3 安全・安心対策の推進

住民が安全で、安心して暮らせるまちとするため、交通安全施設や防犯施設の充実、河川改修による防災対策など必要な整備を行う。また、住民参加による自主防災組織の充実を図るほか、地域ぐるみで事故や犯罪のないまちづくりを積極的に進める。



通学する児童たち(山陽電鉄播磨町駅前)

### 4 地域情報化の推進

情報通信技術の革新が飛躍的に進み、インターネットやケーブルテレビの普及により、急速に高度情報化社会を迎えつつあることから、本町においても必要な情報基盤を整備するとともに、人材の育成や各種情報の発信を促進する。



中学校のパソコン教室